

幸養苑だより

はじめに

苑長 船橋 友寿

日初夏の爽やかな風が吹き抜ける季節となりました。保護者の皆さまには、平素より当施設の運営に多大なるご理解と温かいご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

施設長として2年目を迎えた今、ご利用者の安心な毎日を守る責任の重さを改めて感じると同時に、一人ひとりがもっと自分らしく、楽しく輝ける未来を一緒に作っていきたくと決意を新たにしています。

今年度、幸養苑では時代の変化に合わせながら、これまで以上にご利用者の気持ちに寄り添い、安全を徹底して守るため、新しく2つの重点課題を掲げて取り組んでまいります。

まず1つ目は、今年度から義務化された「全入所ご利用者の地域移行に関する意向確認」への本格的な取り組みです。これは、ご利用者が主役となる未来への第一歩です。「将来、こんな暮らしをしたい」というご本人の希望や夢を、日々の関わりの中で丁寧に聴き取ったり、汲み取ったりしていきたいと考えています。同時に、ご家族の皆さまが抱える不安やご要望についても、お聞きしていきたいと考えております。お互いに本音で話し合える関係を築きながら、一緒に一歩ずつ進んでまいりましょう。

そして2つ目は、すべての土台となる「平時からの徹底した感染症対策」と「医療機関との連携強化」です。昨年度は苑内でインフルエンザやノロウイルスの流行が発生し、皆さまには大変なご心配とご不便をおかけいたしました。この経験を職員一同で深く反省し、今年度は日頃からの消毒や衛生管理をしっかりと見直し、厳しい基準で徹底しています。また、万が一の際にも病院としっかり連携しながら対応できるよう、日常的なネットワークを見直していきます。皆さまが心から安心して過ごせる環境を、職員一丸となって対応していきます。

さらに、在宅サービスをご利用いただいている皆さまへの外出支援につきましても、新しい工夫を凝らして進めてまいります。お買い物やドライブといった社会参加の機会は、ご利用者自身が「これがしたい！」というワクワクを見つける大切なチャンスです。ご利用者様の意思確認を丁寧にしながら、充実した楽しい外出の機会を作っていきます。職員配置の都合上、全てのご希望にすぐにお応えするのが難しい場面もあるかもしれませんが、社会参加の機会を増やしていくことができるよう最善を尽くしますので、ぜひ皆さまの声をお気軽にお寄せください。新しい年度も、変わらぬご指導とご協力をくださいますようお願い申し上げます。

自立訓練(生活訓練)事業の廃止に関するご報告

当施設で実施しておりました「自立訓練(生活訓練)事業」につきましては、近年対象となるご利用者がいらっしゃる状況が続き、また専門職員の確保・安定的な運営体制の維持が困難なことから、令和7年4月より事業を休止させていただいておりました。休止期間中も今後のあり方について慎重に検討を重ねてまいりましたが、誠に勝手ながら、経営資源の集中と今後の重点的な支援体制づくりのため、令和7年度末(令和8年3月)をもちまして、当該事業を正式に廃止することといたしました。これまで本事業にご理解をいただき、支えてくださった保護者の皆さま、関係各位には心より感謝申し上げますとともに、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。なお、自立訓練事業は廃止となりますが、社会福祉法人としての使命を重く受け止め、今後も地域社会の貴重な資源として、皆さまのニーズにしっかりと応えていく所存です。これまで通り、短期入所を含めた緊急のご相談や、地域でお困りの事案に対しましては、最大限スピーディーかつ柔軟に対応させていただきます。何かお困りのことがございましたら、いつでもお気軽に当施設までご相談ください。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

各委員会活動の取り組みについて

幸養苑では、ご利用者に毎日を安全に、そして生き生きと笑顔で過ごしていただくため、職員がいくつかのチーム(委員会)に分かれ、専門的な視点から日々の支援向上に取り組んでいます。

今年度は、法改正に伴う新しい挑戦や、昨年度の反省を活かした安心安全な環境づくりを重点に、それぞれの委員会が知恵を絞りながら本格的な活動をスタートさせています。

ここからは、幸養苑を支える各委員会の今年度の目標や、具体的な取り組みについて、それぞれの担当者よりご紹介いたします。

お花見会

今年度花見会は、数班に分かれて実施し日によっては、天気には恵まれていたものの、強がく合浦公園では無くサンロード青森やシーナシーナ等のショッピングモールへの外出になりました。昼食は、美味しそうにインドカレーやパスタやドリアを食べていました。その後市内の桜の名所をドライブで観覧しました。



妖怪祭り（余暇支援）



6/28(日)北のまほろば歴史館で開催された「妖怪祭り」に行ってきました。大人気のイベントの様で大勢のお客さんで賑わっていました。

妖怪をモチーフにしたワークショップや飲食ブースがあったり、バンドの演奏や妖怪達が会場内を歩き回り会場内はとても盛り上がっていました。

利用者さん達は好きな食べ物や飲み物を各自で購入し、妖怪達と記念撮影をしてイベントを満喫していました。とても楽しいイベントだったので来年も参加したいと思います



ワラッセ見学・パンケーキ作り グループ活動（ぐんぐんグループ旧作業GP）



利用者の余暇活動の充実を図り外出を行いました。

ねぶたに興味や関心のある利用者が集い「ねぶたの家・ワラッセ」へ出掛け、ねぶたの観覧や実際にハネト体験をして来ました。定番の音楽がながれると「ワラッセ〜ラ」と発しながら高く飛び跳ねたり、太鼓叩き等を体験し実際にねぶた祭に参加した体験が出来てたくさん笑顔が見られていました。昼食は「シーナシーナ」のフードコートにて沢山ある飲食店から食べたい物を選んでみんなでおいしく頂きました

令和7年度の締めくくりに作業班でお疲れ様会を行いました。ホットケーキに生クリーム、フルーツをトッピングし、好きなジュースを飲み美味しく頂きました。自分で作ったホットケーキをあっという間に食べ満足した様で「美味しかった」と嬉しそうに話していました。



手作りおやつ会（いきいきグループ高齢GP）



おやつ会を開催しました。支援員が調理をしている様子をじっと見つめていた皆さん(^^) コーヒーやジュースと共に完成したフルーツヨーグルトを食べました美味しくておかわりをする利用者さんもありました。今度はかき氷？ プリン？ いきいきグループの皆さん、次回もお楽しみに♡

浅虫コーヒーフェス（休日余暇支援）



5/31(日)浅虫道の駅で開催された「浅虫コーヒーフェス」に行きました。コーヒー専門家が 10 店舗、キッチンカーが 5 台程出店していて、様々なコーヒーや食べ物がありました。利用者さん達は各自好きなコーヒーやクレープ・ケーキ等を購入し、音楽を聴きながら皆で楽しく飲食されていました。

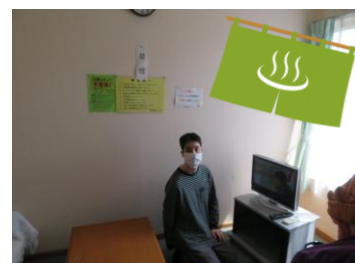


入浴外出



経年劣化にともなうボイラー入替工事がありで入浴出来ず何班かに分かれて鶴亀温泉へ出掛けてきました。貸し切り家族風呂で順番を待ちながらゆっくりに入る事ができいつもと違う環境での入浴を楽しめました。入浴後は自販機で好きなジュースを選び美味しく頂きました。

今回は工事の為の温泉でしたが、機会があればまた楽しめる温泉外出を考えていきたいと思います



個別外出



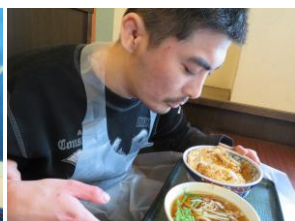
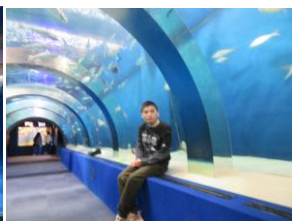
●令和8年4月28日(水) 赤坂優斗さん

気温も上がり気分転換にて外出しました。浅虫水族館へ行きました。魚やペンギンとあまり興味ありませんでしたが、イルカショーでは音楽が流れると席を立たれ普段より体を大きく揺らしながらリズムに乗っていました。ショーが始まると着席されジッと見ています。昼食は「まるまつ」でかつ丼ミニうどんセットとデザートにアイスも食べ楽しい個別外出となりました。



●令和8年5月7日(木) 齋藤隆之さん

昨年から隆之さんから希望されていた外出もようやく実現する事が出来ました。計画されていた(床屋、電気店、靴屋)公共の施設を全て回り、昼食は回転寿司で12皿程食べ満足そうでした。最後にマクドナルドに立ち寄り今日の夕食として購入されました。帰苑後は今回の外出について支援員にお礼を言ってくれました。また行きたい場所を見つけて外出にいきましょう。



新しい職員の紹介



パートタイム 齊藤妙子さん(生活支援員)

4月よりお世話になっております。

福祉は初めてなのでこれから様々なことを学び、一人一人に寄り添える職員として成長していきたいと思っております。一生懸命励んでまいりますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。

正規職員 高森光莉さん(生活支援員)介護福祉士

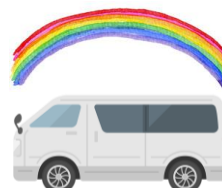
4月より入職しました高森です。

利用者の方一人ひとりの関りを大切にしながら、安心して笑顔で過ごしていただけるよう努めてまいります。これからどうぞよろしくお願いいたします。



パートタイム 工藤正明さん(送迎ドライバー)

送迎(公用車)のドライバーとして勤務しています。大型免許があり今までも運転業務に従事していた経験から安全運転で施設送迎業務をしますのでよろしくお願いいたします。



事業報告



事務長 秋田 道

幸養苑では、今年度も関係機関との連携を図りながら、緊急的な短期入所などの支援に取り組んでまいりました。また、平成23年より実施しておりました自立訓練(生活訓練)につきましましては、令和7年度をもって終了することとなりました。通所サービスにおいては、7月の感染性胃腸炎、8月のインフルエンザ集団感染、2月の大雪による送迎困難など、さまざまな影響を受けました。これらの状況により一部サービスの縮小を行いながら事業継続を図りましたが、ご家庭の皆様には多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

感染症対策としては、11月に感染症専門家を招き、感染管理の現地指導を含む青森県感染症対策特別研修会を施設内で開催いたしました。これにより、感染症危機発生時の対応力向上を図ることができました。

一方で、慢性的な人員不足が続いており、公共機関への求人依頼、広告掲載、教育機関への協力依頼などを通じて人材確保に努めてまいりました。その結果、新たに5名の採用に至りましたが、依然として十分な人員確保には至っておらず、引き続き人材確保を強化してまいります。

施設の経年劣化に伴う補修工事については、計画的に実施しており、外壁塗装工事や苑庭舗装工事などを行いました。利用者の皆様が安心して過ごせる環境づくりに努めております。

本年度は、感染症や気象状況、人材不足など多くの課題に直面した一年となりましたが、皆様の温かいご理解とご支援に支えられ、無事に事業を継続することができました。今後も地域に根ざした施設として、より良い支援の提供に努めてまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

決算書別紙

虐待防止委員会



虐待防止委員会を新メンバーで開催しました。初めに事前に全支援員に対してチェックリストを実施しその結果報告を行いました。大半の支援員が支援に対して悩んで対応に苦慮していたことでした。それだけ利用者を思っている悩みの内容で、そこで委員会では相談しやすい雰囲気づくりを行い、相談内容に対応して虐待防止に努めていくことになりました。また、ヒヤリハット体制を整え少しずつ虐待防止の意識付けとるよう委員会で話し合っています。

地域移行調査委員会



障害者支援施設等の入所利用者に対する「地域移行等の意向確認」が今年度から施設側に義務化されました。幸養苑での生活を踏まえた地域生活への希望等を確認するにあたって、イラストやカード等を使用したりし、希望する将来の生活について現在入所利用者様1人1人へ確認を取っている最中です。

色々な経験を通し、その利用者様にとって今後の生活がより良いものになる様な選択に繋がっていかれたらと思います。

感染対策委員会



前年度の繰り返し発生した感染症を繰り返さない為に、今年度より感染対策委員会として本格的に対策を開始しています。5月からはキレイキレイのボトルの洗浄、利用者さんの歯ブラシの衛生確認、トイレ清掃時のチェック表の記入を始めています。6月からは食事介助の際の職員の手指消毒の徹底を開始しています。施設内の衛生面を保ちつつ、利用者さんが気持ちよく過ごして頂けるような環境作りやできるだけ感染症から守れるような対策をこの委員会を通して作っていきえるようにしたいと考えています。

ご寄付のお礼



令和7年度も保護者の皆様、ならびに家族会様より、たくさんの温かいご支援と心遣いをいただきました。誠にありがとうございました。ご家族より頂戴した DVD プレイヤーは、ご利用者の毎日の活動時間や余暇時間のために活用させていただいております。また、たくさんの飲料等も、職員やご利用者の水分補給として大変喜ばれました。幸養苑家族会様からは地域交流行事の協賛金をいただき、イベントがより一層盛り上がり、たくさんのご利用者の笑顔を引き出すことができました。皆さまからの温かいお気持ちに職員一同、心より感謝申し上げます。いただいたご厚意を大切に活かしながら、今後もご利用者が安心して笑顔で過ごせる環境づくりに努めてまいります。



令和7年度 満足度調査

年度末に利用者満足度調査を実施しました。

「好きな食べ物を多く食べたい」や「外出したい」ことが多く要望されていました。利用者の皆さんからの色々な意見を参考に利用者が満足してもらえるような環境作りに取り組みたいと思います。

今後の予定



	7月	8月	9月	10月
行事予定	14日ランチバイキング	13.14 日お盆休み	12 日地域交流会	13 日ランチバイキング インフルエンザ予防接種
土曜日 開所日	4 日	1.8.15.22.29 日	5.19.26 日	3.24 日



※コロナウイルス感染症その他流行りものの対策の為、引き続き手洗いうがい可能な範囲でマスクの着用をお願いします。

法人 ホームページ <http://care-net.biz/02/seiyokai> 幸養苑 アドレス koyoen@car.ocn.ne.jp